

# JR東海労なごや

2023年 1月24日 No.1215  
JR東海労名古屋地方本部  
発行者：荻野隆一  
編集者：教宣部

## 2023年新春旗開きを開催



2023年1月21日、JR東海労名古屋地本は牧野コミュニティーセンターに於いて「新春旗開き」を開催しました。昨年は、新型コロナウイルス感染を考慮し開催を見送りましたが、今年は感染予防を行なったうえで総勢30名が集まりました。

### 荻野委員長、今年も全組合員で闘い抜こうと挨拶

冒頭、荻野委員長より、「ワンマンの拡大、駅の無人化等が提案されている。会社の合理化を阻止し組合員の生活・健康を守らなければならない。組織破壊を狙った加藤副委員長への強制出向は認められない。ウクライナ戦争が続いている。軍事産業は莫大な利益を上げている。誰が本当の首謀者なのかを見なければならない。昨年は、岐阜と三重で地本主催のレクを久しぶりに開催した。直接話することの大切さをあらためて感じた。全組合員で共に闘って行こう」と挨拶を受け始めました。

### JR東労組から高橋副委員長を迎え特別講演をうける

今回、旗開きの特別講演として、JR東労組より高橋副委員長を迎えJR東会社の労務管理の現状を聞きました。また前段で開催されたOB総会を終えた今井OB会長および楠関ヶ原町会議員から連帯の挨拶を受けました。



東労組・高橋副委員長の講演では、「会社は、柔軟な働き方と称し全ての現業機関で職名を統合、乗務後に駅業務、事業店舗業務など、なんでもありの提案がされている。これでは組合員の安全・生活は守れない。効率化はJRグループ全体への攻撃だ。JR総連結集し共に闘おう。」とJR東日本の効率化攻撃の現状報告を受けました。



### 退職者をねぎらう

また、この間に退職された、宮沢さんと水野さんのご苦勞をねぎらい、ご挨拶をいただきました。



## 組織破壊を許さず効率化に反対し

## 組合員の利益、健康と生活を守るために本年も闘う！